平成29年度事業報告書

【平成29年7月14日から平成30年3月31日まで】

チア！アート
CHEER!ART

トップメッセージ

医療や福祉の現場を人の生きる力を引き出し、

自分らしい生き方が出来る環境にしたい。

そんな想いから、平成 29 年 7 月にチア・アートは、歩み出しました。

私たちは、医療や福祉の現場での環境改善を進めるにあたり、

関係者との対話を重ね、ホスピタリティをかたちにしていきたいと思います。

また、当事者・職員・デザイナー・企業など、

様々な分野の人たちと一緒に環境のあり方について考え、

創造的なイノベーションを起こしていきたいと思います。

この 1 年、会員の皆さまには、様々なかたちでご支援いただきました。

誠にありがとうございました。

引き続き、医療や福祉の現場を元気にするアート・デザインを展開するため、

継続的なお力添えを心よりお願い申し上げます。

2018 年 11 月

特定非営利活動法人　チア・アート

理事長　岩田祐佳梨

1 事業の成果

今年度は、法人を平成 28 年 7 月 14 日に設立し、初めての臨時総会を平成 28 年 9 月 8 日に行いました。事業としては医療施設等における環境改善事業、医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業を行いました。

2 事業の実施に関する事項

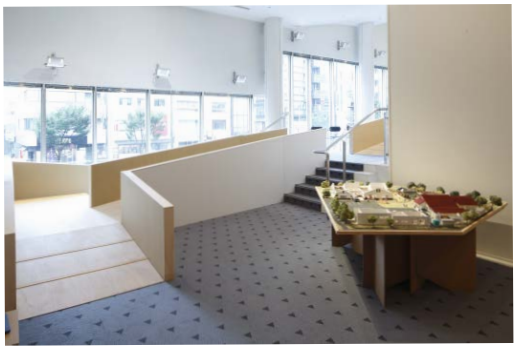
(1) 医療施設等における環境改善事業

① アクセシビリティの高い展覧会を目指した「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 企画展 ミュージアム・オブ・トゥギャザー」会場デザイン

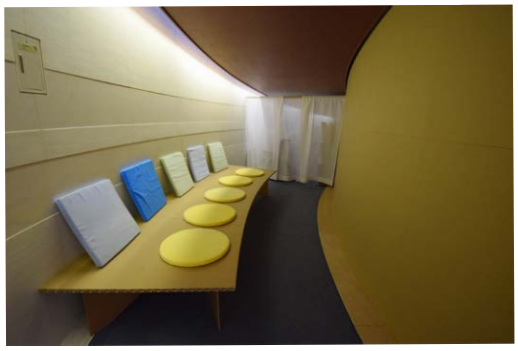
障害のある人もない人もアクセスしやすい展覧会を目指して会場をデザインしました。階段へのスロープ設置、車椅子や子供でも見やすい高さの展示、緊張感を和らげる段ボールを用いた壁、パニックになった人が休めるクワイエットルーム、会場の触視模型の展示など、様々な状況の方が楽しめるような会場にしました。

- 実施日時：2017 年 4 月～10 月（設計期間）、10 月 13～31 日（展覧会会期）
- 場所：スパイラルガーデン（スパイラル 1F）
- 従事者：貝島桃代（副理事長）、岩田祐佳梨（理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：障害のある方、アート関係者、スパイラル来館者など約 4 万人

スパイラル状になった展示会場　撮影：木奥恵三



階段に通したスロープ　撮影：木奥恵三



クワイエット・ルーム

触視模型

【日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 企画展ミュージアム・オブ・トゥギャザー】
主催：日本財団　共催：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会　制作：一般財団法人 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS
監修：NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ〔AIT/エイト〕会場構成：アトリエ・ワン / チア・アート

② 看護職の支援・地域偏差解決を目指した「茨城県看護協会リーフレット」ディレクション

看護職を支援するための茨城県看護協会への入会を呼びかけること、看護職の地域偏差を減らすことを目的に改訂したパンフレットのディレクションを行いました。

- 実施日時：2018 年 1 月～3 月（制作期間）、2018 年 4 月～（配布期間）
- 場所：不特定
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：看護職の方　不特定多数

表

裏

【茨城県看護協会パンフレット】
発行：茨城県看護協会　ディレクション：チア・アート　デザイン / イラスト：ふるやまなつみ

(2) 療養生活を支援する製品等の開発・販売事業

本事業年度は、実施なし

(3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業

③ シンポジウム「Designing for Dementia」での講演

岩田がこれまでの病院でのアート・デザインプロジェクトの事例を踏まえて、認知症の方に配慮するデザインは、あらゆる人々に優しいデザインであることを示した講演を行いました。

- 実施日時：10 月 28 日
- 場所：青山学院大学
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）
- 受益対象者の範囲・人数：学生、アート関係者など 20 名

【Designing for Dementia】主催：青山学院大学　講師：ビクトリア・ジョーンズ　齊藤泰嘉　西田清子　岩田祐佳梨

④ 筑波大学エクステンションプログラム

「アートとデザインを効果的に活用した病院環境の改善講習」での講師・指導

筑波大学附属病院や筑波メディカルセンター病院での環境改善の事例紹介、海外病院の事例紹介、環境改善のプロセスや方法などに関する講演を行いました。同時に、病院見学ツアーや異なる職種の参加者同士が一緒に病院環境に関する課題や改善のアイデアについて話し合うワークショップを開催しました。

- 実施日時：11 月 29 日、12 月 6 日、12 月 13 日
- 場所：筑波大学東京キャンパス
- 従事者：岩田祐佳梨（理事長）、軸屋智昭（理事）、長島明子（事務局）、牧奈歩（事務局）
- 受益対象者の範囲・人数：学生、アート関係者、設計者、医療従事者など 24 名

病院見学ツアーの様子

ワークショップでのアイデア発表の様子

【筑波大学エクステンションプログラム「アートとデザインを効果的に活用した病院環境の改善講習」】主催：筑波大学　講師：齊藤泰嘉 / 岩田祐佳梨

はじめの1年へのご支援 ありがとうございました

（平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月決算）

収益	（単位千円）
会費	428
事業収益	935
寄付	400
合計	1,763

支出	（単位千円）
事業費	202
管理費	1,084
合計	1,286

平成 29 年度　特定非営利活動法人チア・アート 役員

理事長　岩田 祐佳梨 / 筑波大学芸術系 博士特別研究員、筑波メディカルセンター アートコーディネーター

副理事長 貝島 桃代 / 筑波大学芸術系 准教授

理事　五十嵐 徹也 / 茨城県病院局 病院事業管理者

松村 明 / 筑波大学附属病院 病院長

軸屋 智昭 / 筑波メディカルセンター病院 病院長

蓮見 孝 / 札幌市立大学学長、筑波大学名誉教授

監事　山中 敏正 / 筑波大学芸術系長　教授